

建築端材で板グローブ

エンジンなど オイスカ国際高に寄贈

浜松市中区のLPGガ
ス販売エンジンはこのし、建築端材を使った



「板グロー

ブ」を製作した。野球の基礎練習に活用してもらおうと、オイス

カ国際高に寄贈された板グローブをはめる部員は浜松市西区のオイスカ浜松国際高

カ浜松国際高（西区）

の女子野球部に5個を寄贈した。

板グローブは、直径25センチほどの楕円（だえん）のような形。捕球

時にもう片方の手を添える必要があり、正しい捕球姿勢を身に付けるのに効果があるときがある。同校で寄贈式があり、杉本知世主将（16）は「ゴロの捕球や握り替えの練習に役立っていた」と話した。

端材の板グローブづくりは仲田建築（同市）が屋根や床の下地材の余りを有効活用しようとして企画し、地域のスポーツ用品店や鍼灸（しんきゅう）師らと協力して完成させた。同校と交流のあるエンジンが仲介した。（浜松総局・岩下勝哉）